

感情ノ阻隔ヲ来セル兩者ヲ同一場所ニ混同作業セシムルハ聽テ
職工間ノ内訌ヲ醸生スルキ素因ヲ依ルモノナリトシテ罷業職
工ノ復職ニ反對ヲ唱ヒ十八日ニ至リ罷業職工ニ對シテ廿一日迄
出勤見合(但し日給ハ本十八日より支給)ノ通知ヲ発シ其間ニ
於テ善後策ヲ講スルコトナセリ

廿一日會社ハ罷業職工五百ニ名ニ對シテ別表ノ如ク積善
良ト認ムルキモノ百四十八名ヲ復職セシメタル外八十二名ニ
轉勤セシメ八十九名ヲ待命者トシ殊餘百五十名ノ解雇ヲ
行ヒタルカ解雇事由ハ遺見書其一後段ニ依ルモノニシテ即チ
西表會所共救管理ヲ要スルノ已ムナキニ至リタルヲ以テ過般
発表(五月九日一斉解雇書)ノ解雇手當及十九日ヨリ廿一日
迄待命期間ノ日給ト且ツ慰籍金二十五圓ヲ支給シ解雇
スル旨ノ通知ヲ爲セリ 於是罷業職工中ノ一部ハ會社ノ措

置ハ白書ノ遺見書ニ背反シ誠意ヲ缺クモノナリトシテ不平ヲ唱
ヘ友愛會西尾未廣ハ東忠績其他実行委員九名同伴救急寮
部ニ出頭シ這般ノ關係ニ基テ其ノ裁斷ヲ仰キ度ト申出アリ
一旦終局ヲ告ケタル今日更ニ紛擾ヲ重ヌルハ欲セサル所ナレハ
會社ノ給與セシトスル慰籍金ヲ各自日給ノ四十圓分ニ増額セ
ラルニ於テハ陰刃スレト稱フルヲ以テ會社ニ其意ヲ通シ
双方ノ互讓ニ依リ結局慰籍金ヲ五十四圓ニ増額スルコトナレリ
會社ハ該解雇手當金及慰籍金ハ此際ニ限リ轉勤待
命者中ノ退職希望者ニ對シテ亦之ヲ支給スルコト決シタル
ヲ以テ四罷業職工ハ此際斷然全員退職スルニ如カスト硬論ヲ
主張スルモノアリシモ會社ハ復職指令者ニ對シテハ右ノ手當
及慰籍金ノ支給ヲ爲シ難シ尤モ特ニ四十名ニ限リ全額
支給スルモ妨ナレトシテ其大部分ノ復職ヲ欲スル手段ヲ